

令和6年9月

※ 消費税・諸経費込み

糸魚川市供内管工事単価表

糸魚川市ガス水道局

1) 白鋼管 (一般木造住宅) (円/m)

工種 \ 口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
新 増 設	5,408	6,933	8,699	9,692	12,535	19,287

2) 白鋼管 (鉄筋・鉄骨建物) (円/m)

工種 \ 口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
新 増 設	5,856	7,502	9,413	10,490	13,564	20,872

3) 白鋼管 (溶接) (円/m)

工種 \ 口径	50A		80A		100A	
	布設(m)	溶接(箇所)	布設(m)	溶接(箇所)	布設(m)	溶接(箇所)
新 増 設	5,396	24,563	8,288	24,563	10,684	27,297

4) 被覆鋼管 (露出部・地中埋設部) ※ 掘削埋戻費は別途計上する (円/m)

工種 \ 口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
新 増 設	10,115	12,233	15,367	17,097	22,191	33,759

5) ポリエチレン管 (灯外・灯内々管) ※ 掘削埋戻費は別途計上する (円/m)

工種 \ 口径	30A	50A	75A	100A
新 増 設	5,989	8,046	12,172	17,121

○E F 接合とする

6) 供給管工事 (ポリエチレン管) (円/m)

工種 \ 口径	30A	50A	75A	100A
新 増 設	4,694	6,691	9,607	13,648

7) 仮配管 (白鋼管) (円/m)

工種 \ 口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
新 増 設	5,505	6,872	8,494	9,353	11,882	17,835

8) 撤去工事 ※ 廃材処理費含む (円/m)

口径	20A	25A	32A	40A	50A	80A
工種	1,149	1,427	1,766	1,948	2,504	3,726

9) フレキ管工事 (ガスフレキ管) (円/個所) (円/m)

口径	10A		15A	
	基本工事	1m当り	基本工事	1m当り
新増設	7,114	2,637	7,405	3,073

口径	20A		25A	
	基本工事	1m当り	基本工事	1m当り
新増設	9,280	3,811	12,402	5,251

10) カラン取付費 (円/個所)

単価	3,109
----	-------

○壁貫通コンセントカランの取付に適用

11) カラン取替費 (円/個所)

	普通	特殊
単価	2,722	3,000

○特殊は露出型以外 (壁型・床型) に適用

12) 器具接続費 (円/個所)

	15A~25A	32A~50A	80A以上	可とう管
単価	4,053	6,812	11,966	3,896

13) 支持金具取付費 (円/個所)

	カルプラグ	アンカーボルト	溶接
単価	1,548	1,911	2,795

14) 切断連絡費 (円/個所)

	15A~25A	40A	50A	80A以上
単価	3,726	5,239	5,590	7,514

○切断し機械継手により連絡する場合、又は手ネジを切る場合に適用

15) 塗装費 (円/m)

	15A~25A	32A~50A	80A以上
単価	871	1,040	1,524

16) コンクリートはつり費 (円/m)

	15A~50A	80A以上
単価	8,603	11,011

17) コンクリート穴あけ費 (円/個所)

	50A以下		80A以上	
	25cm未満	25cm以上	25cm未満	25cm以上
単 価	7,574	16,177	8,603	18,246

18) バルブ取付費 (円/個所)

	15A~20A	25A~32A	40A~50A	80A以上
単 価	3,109	4,283	6,231	13,249

○フランジ型・機械継手型・PEバルブの設置に適用

19) ボックス設置費 (円/個所)

単 価	8,966
-----	-------

○ボディ、ベースなどの加工のある場合に適用

20) メーター取付(取替)費 (円/個所)

	10号以下	16号	25・40号	65号	100号
取 付 費	2,444	2,843	5,348	14,846	22,179
取 替 費	4,089	4,706	8,881	31,496	45,483

○取付費は、新設工事及びメーター器周りの配管を伴う改造工事に適用

21) 取出工事費 (円/個所)

管 種	工 種	32A(30A)	50A	80A
鋼 管	溶 接	38,054	62,750	100,103
鋳 鉄 管	クランプ	42,495	62,048	86,357
ポリエチレン管	E F	7,417	9,171	13,902

○取出しに必要な工程、材料費含む(鋳鉄管のクランプ及びポリエチレン管のEF-STは別途計上)

22) 切断取出費

①被覆鋼管 (円/個所)

口 径	32A×32A	50A×50A
単 価	34,896	60,379

○取付しに必要な工程、材料費含む(元管接続部の継手のみ別途計上)

②ポリエチレン管 (円/個所)

口 径	50A×50A	100A×75A
単 価	31,302	130,825

○取付しに必要な工程、材料費含む

23) ストッパー口取付費 (円/個所)

管種	工種	単価
鋼管	溶接	22,106
ポリエチレン管	E F	3,896

○パイパースタドルは別途計上

○口径に関係なく一定とする

24) 供給管撤去費 (円/個所)

	20A~25A	32A~40A	50A	80A
単価	5,687	8,058	10,478	15,730

○廃材処理費含む

25) ポリエチレン管切断撤去費 (円/個所)

	30A	50A	75A
単価	5,118	7,393	12,463

○廃材処理費含む

○E F - C a 含む

○ポリエチレン管をキャップ止めをする場合に適用

26) 防食工 (円/m)

	20A	25A	32A	40A	50A	80A
単価	3,666	4,114	4,803	5,203	6,473	8,421

○資材費、労務費含む

○ペトロラタムテープ二重巻+防食テープ巻

27) 宅地内掘削費

①機械掘削

(円/m)

掘削深	工種	単独施工		同時施工	
		一部入替	転用	一部入替	転用
H=0.3m			992		496
0.5m		4,537	2,504	2,269	1,252
0.7m		5,493	3,509	2,747	1,755
1.0m		10,769	7,792	5,385	3,896
1.2m		12,317	9,353	6,159	4,677
1.3m		13,080	10,127	6,540	5,064
1.4m		13,842	10,914	6,921	5,457

②人力掘削

(円/m)

掘削深	工種	単独施工		同時施工	
		一部入替	転用	一部入替	転用
H=0.3m			2,250		1,125
0.5m		8,639	5,638	4,320	2,819
0.7m		10,829	7,889	5,415	3,945
1.0m		21,949	17,545	10,975	8,773

○掘削・埋戻し・残土処理を含み、路面工・路盤工なし

○一部入替の場合、保護砂0.3mとする

○掘削深度0.3mの場合、上幅=0.3m 下幅=0.3m

○掘削深度0.7mまでは、上幅=0.5m 下幅=0.4m

○掘削深度1.0m以上は、上幅=0.8m 下幅=0.6m

28) 縦横断用掘削工事費 (上幅=0.8m 下幅=0.6m)

①機械掘削 (円/m)

区 分	工 種	0.7m	1.0m	1.2m	1.3m	1.4m
アスファルト	総入替	14,471	19,638	23,062	24,780	26,511
	一部入替		15,560	17,097	17,859	18,646
コンクリート	総入替	30,129	35,283	38,732	40,426	41,515
	一部入替		31,508	33,045	33,819	33,952
砂 利 道	総入替	12,426	17,617	21,041	22,760	23,619
	一部入替	10,514	12,813	14,350	15,112	15,984

②人力掘削 (円/m)

区 分	工 種	0.7m	1.0m
アスファルト	総入替	22,602	30,467
	一部入替		26,704
コンクリート	総入替	37,897	45,750
	一部入替		42,265
砂 利 道	総入替	17,944	25,821
	一部入替	17,230	21,404

- ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする
- 掘削・埋戻し等の土木関係の骨材及び労務費の一切を含む
- 舗装切断費は別途計上する
- 舗装(路面)復旧及び上層路面工事も含む。ただし、アスファルトの本復旧、仮復旧及び配管費は別途計上する
- 機械掘削工事を適用する場合は重機運搬費を別途計上する

29) 縦横断用掘削工事費 (上幅=0.5m 下幅=0.4m)

①機械掘削 (円/m)

区 分	工 種	0.7m	1.0m	1.2m
アスファルト	総入替	9,256	12,584	14,786
	一部入替		9,958	10,950
コンクリート	総入替	19,045	22,360	24,575
	一部入替		19,928	20,920
砂 利 道	総入替	7,998	11,313	13,515
	一部入替	6,763	8,240	9,232

②人力掘削 (円/m)

区 分	工 種	0.7m	1.0m
アスファルト	総入替	14,447	19,493
	一部入替		17,085
コンクリート	総入替	23,994	29,052
	一部入替		26,813
砂 利 道	総入替	11,555	16,601
	一部入替	10,418	13,769

- ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする
- 掘削・埋戻し等の土木関係の骨材及び労務費の一切を含む
- 舗装切断費は別途計上する
- 舗装(路面)復旧及び上層路面工事も含む。ただし、アスファルトの本復旧、仮復旧及び配管費は別途計上する
- 機械掘削工事を適用する場合は重機運搬費を別途計上する

30) 重機運搬費 (1工事)

単 価	17,762
-----	--------

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

31) 簡易舗装取壊し費 (円/㎡)

単 価	62,532
-----	--------

○コンクリート、アスファルトの区別なし

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

○取り壊し後の後片付け(殻処理)も含む

○舗装の切断がある場合は別途計上する

32) 舗装切断工事 (円/m) (円/回)

	10cm以下	15cm以下	小規模
アスファルト	701		21,780
コンクリート		1,331	35,090

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

○小規模は切断延べ延長が15m以内の工事で、作業回数で計上する

33) コンクリート舗装復旧工事 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
コンクリート復旧	8,833	㎡	生コンD号 t=15cm
〃	96,715	㎥	人力練り 普通ポルトランドセメント

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

34) 砂利道復旧工事 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
路面工(砂利道)	822	㎡	クラッシュラン(25mm)

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

35) 安全費 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
安 全 費	14,665	式	安全管理に関する費用
交 通 整 理 員	24,684	人	

○安全費には道路使用申請費用を含む

○ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

36) アスファルト本復旧作業費 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
AS本復旧作業 (最低保証)	65,340	式	16㎡まで 材料別途
AS本復旧作業 (16㎡超過)	1,548	㎡	材料別途

- 本復旧を行った場合に最低保証を計上
- 復旧面積が16㎡を超えた場合に超過した面積を㎡で計上
- ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

37) アスファルト本復旧材料費 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
AS本復旧材料⑤ (最低保証)	8,143	式	3.9㎡まで ⑤密粒度アスコン (新20FH) t=5cm
AS本復旧材料⑤ (3.9㎡超過)	2,032	㎡	⑤密粒度アスコン (新20FH) t=5cm
AS本復旧材料⑦ (最低保証)	9,897	式	3.9㎡まで ⑦密粒度アスコン (新20FH) 改質I型t=5cm
AS本復旧材料⑦ (3.9㎡超過)	2,480	㎡	⑦密粒度アスコン (新20FH) 改質I型t=5cm

- 本復旧を行った場合に最低保証を計上
- 復旧面積が3.9㎡を超えた場合に超過した面積を㎡で計上
- ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

38) アスファルト仮復旧作業費 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
AS仮復旧作業	1,548	㎡	材料別途

- 仮復旧を行った面積を㎡で計上
- ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

39) アスファルト仮復旧材料費 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
AS仮復旧材料⑨ (最低保証)	7,949	式	6.6㎡まで ⑨密粒度アスコン (13F) t=3cm
AS仮復旧材料⑨ (6.6㎡超過)	1,076	㎡	⑨密粒度アスコン (13F) t=3cm

- 仮復旧を行った場合に最低保証を計上
- 仮復旧面積が6.6㎡を超えた場合に超過した面積を㎡で計上
- ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

40) 区画線工 (円)

工 種	単 価	単 位	備 考
区画線工	56,870	式	5か所まで W=15cm

- 5か所を超える場合には1か所当たり7,000円加算
- ガス水道同時施工の場合は各々50%単価とする

資材単価表（抜粋）

型番	品名	寸法	単価
G013-12	LA1口ヒューズコック	9.5A	7,768
G013-21		13A	9,752
G023-12	LA2口ヒューズコック	9.5A	17,424
G015-12	LB1口ヒューズコック	9.5A	9,038
G015-21		13A	10,998
G025-12	LB2口ヒューズコック	9.5A	17,424
G013A-12	LAコンセントヒューズコック	9.5A	7,973
G015A-12	LBコンセントヒューズコック	9.5A	9,413
G025-12R	LB2口ヘアヒューズガス栓	9.5A	17,666
G025-12L		9.5A	17,666
G856A5-07D	ガスコンセント壁埋込1口	9.5A	10,890
	ガスコンセント後付固定枠		1,197
	ガスコンセント先付固定枠		1,851
331N	I型可とう管コック	13A	5,215
333N	L型可とう管コック	13A	5,215
G98D	ハンドコック	15A	5,771
		20A	7,284
G87	サービスコック	20A	5,662
		25A	7,417
	化粧割座金		294
502	TU式Lアダプター	15A	2,565
503	TU式Sアダプター	15A	2,613
511	オネジアダプター	15A	1,536
	検圧プラグ		2,783
GMU333WG-11	メーター廻リユニット	1P	14,762
	標示杭(L=450)		2,069
	標示ピン		1,306
G331U5	I型フレカス栓 (フッシュェインハク外継手)	15×15	7,828
		20×15	8,869
		20×20	9,425
G333U5	L型フレカス栓 (フッシュェインハク外継手)	15×15	7,574
		20×20	9,425
G334U5	L型フレカス栓 外衽仕様 (フッシュェインハク外継手)	15×15	7,574
FIS	フレキ継手 片衽ソケット (フッシュェインハク外継手)	10×15	2,480
		15×15	2,698
		20×15	4,150
		20×20	4,150
		25×20	6,546
		25×25	6,546

品名	寸法	単価	
		S型	SL自在型
強化ガスホース	×0.2m	3,569	6,570
	×0.3m	3,859	6,860
	×0.4m	4,186	7,139
	×0.5m	4,622	7,405

品名	寸法	単価	
		屋内用	屋外用
メタルホース	15A-20cm	5,904	7,320
	-25cm	6,207	7,477
	-30cm	6,485	8,288
	20A-20cm	7,139	9,208
	-25cm	7,852	9,341
	-30cm	8,663	10,236

品名	寸法	単価	
		ステンレス	鋼製
支持金具 立型バンド+T字足	20A~25A	5,021	919
	32A~40A	5,505	992
	50A	5,844	1,089

品名	寸法	単価
支持金具 (P-130 SUS304)	20A	3,351
	25A	3,291

糸魚川市供給管・内管工事仕様

1. 使用材料

- a. 鋼管は【JIS3452】に規定されている配管用炭素鋼管（S・G・P）の亜鉛メッキを施したものの又は外面被覆を施したもので、継目無管又は電縫管とする。
- b. ポリエチレン管は【JISK6774】で規定されたもので、推奨マーク表示のあるものとする。
- c. 継手は【JISB2301】に規定されている亜鉛メッキを施したのものとする。
- d. 被覆継手は、日立、協成、JFE継手もしくはこれらと同等品とする。
- e. ポリエチレン管継手は、【JISK6775】で規定されたもので、推奨マークのあるものとする。
- f. ガス栓類は光陽産業、藤井合金、多田精工のヒューズガス栓および可とう管コックを使用する。

2. 配管部位による使用管種

- ①供給管……………ポリエチレン管を使用する。
- ②灯外内管……………原則としてポリエチレン管を使用する。延長が1.0m以内または十分な埋設深度がとれない場合は被覆鋼管も可とする。
- ③灯内内管……………埋設部は被覆鋼管もしくはポリエチレン管、露出部は耐光性を有するアイボリーのカラー鋼管もしくは白鋼管、隠ぺい部は鋼管もしくはフレキ管を使用する。
- ④メーター周り……カラー鋼管を使用し、立管上部にメーター周りユニットを設置し、メーターを取り付ける。

3. カラー鋼管における余ネジカバーの隙間の充填

露出部においてカラー鋼管に被覆継手等を接続する場合は、余ネジカバーとの隙間にブチルゴムテープを充填し、指で擦り付けて水分が浸入しないようにすること。
埋設部についてはゴムパッキンも可とする。

4. 単価の見積

本単価表にない特別の工程又は材料を使用する場合は、その都度別途見積りとする。

5. 配管延長の計上

配管延長は口径毎に0.5メートル単位で計算し、端数は切り捨てる。ただし、全延長が0.5メートル未満の時は0.5メートルとする。（注：設計書には実数量を記載すること）

6. 工事区分

- a. 白鋼管（一般木造住宅）……戸建・集合を問わず、木造住宅に適用
- b. 白鋼管（鉄筋・鉄骨建物）…鉄筋・鉄骨、ブロックその他これらに類似する建築物に係る工事に適用
- c. 被覆鋼管……………被覆鋼管を使用する工事に適用
- d. ポリエチレン管……………灯外・灯内内管でポリエチレン管を使用する工事に適用
- e. 仮配管……………仮設工事が必要な場合に適用し、配管から撤去までの全ての工程を含む
- f. 撤去工事……………管種を問わず撤去工事に適用
- g. 供給管……………事業者（市）負担で施工する工事に適用
- h. フレキ管……………灯内内管でガスフレキ管を使用する工事に適用

設計施工上の留意事項

- 1) ガス工事費の諸経費（設計・監督費）は直接工事の10%とする。
（設計費4.5%、監督費5.5%）
- 2) 特殊カラン取付費は、壁貫通コンセントカランの取り付けに適用する。
- 3) カラン取替費は、配管延長のない取り替えのみの場合に適用する。
- 4) 可とう管接続費は、強化ガスホース接続、金属フレキ接続の場合に適用する。
- 5) 湯沸器の接続は、器具接続費を準用する。
- 6) 切断連絡費は、鉄管を切断し機械継手で連絡する場合と、切断後手ネジを切る場合に適用する。
- 7) 塗装は二回塗りとする。
- 8) コンクリートはつり費は、コンクリートをはつり、コンクリート内にガス管を埋設する場合に適用する。
- 9) スリーブの設置費は、コンクリート穴あけ費の50A以下、厚さ25cm以下の単価を準用する。
- 10) メーター器の異型取替費は、三方自在の継手材料費を含む。
- 11) 鋳鉄管からの取出しは、原則としてクランプを使用すること。
- 12) 埋設部分及び被覆鋼管の機械継手には被覆鋼管用（PLSM等）を使用すること。
- 13) 供給管撤去費は、供給管の切断、撤去を含み、元管でプラグ止めをすることを原則とする。
- 14) 水道とガスの本支管の離隔距離が50cm以内の場合には、取出掘削費については、単価を1/2計上すること。また、この場合は深い方の掘削深度の単価を適用する。
- 15) 取出掘削費の深度は、管底+10cmとする。
- 16) 本支管の埋設深度が浅く、取出し後すぐに立ち上げて供給管を施工する場合には、取出掘削費の深度を供給管の掘削深度に合わせる。
- 17) 供給管横断後の民地での掘削は、別途宅地内掘削費を計上すること。
- 18) 供給管及び灯外内管（一部灯内内管も可）は、ポリエチレン管を使用すること。
- 19) 鉄筋・鉄骨建物の白鋼管の適用単価は、建物の新築、改築に係るものに用い、増築などの部分的で小規模な工事には適用しないこと。
- 20) フレキ管工事は、原則として基本工事一式と配管延長を計上する。ヘッダーを設置する場合は別途見積とする。
- 21) 基本工事の単価にはフレキ配管1次側の継手の材料費・施工手間、2次側の継手の施工手間が含まれている。2次側の継手の材料費は含まれていないので別途計上する。
（フレキで器具に直接接続する場合、基本工事に施工手間が含まれているため器具接続費は計上しない）
- 22) 白鋼管（溶接）は、配管延長（布設）と溶接箇所数（溶接）を計上する。
溶接箇所数は1口1箇所と計上する（チーズ…3箇所、エルボ・ソケット等…2箇所）